

第60回男子・第33回女子 全日本大学ホッケー選手権大会

開催日時 11 月 2 日 (水) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】 < Aコート >

第1試合 女子準決勝 ----- 10:00	天理大学	4	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 3 - 0 \end{pmatrix}$	0	山梨学院大学
第2試合 女子準決勝 ----- 11:40	東海学院大学	2	$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	1	立命館大学
第3試合 男子準決勝 ----- 13:20	山梨学院大学	3	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	0	慶應義塾大学
第4試合 男子準決勝 ----- 15:00	天理大学	2	$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$	1	立命館大学

【各試合の結果・詳細】

Aコート 第1試合 女子準決勝

$$\text{天理大学} \quad 4 \begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 3 - 0 \end{pmatrix} \quad 0 \quad \text{山梨学院大学}$$

<得点>

天理 : 20分 早戸、36分 西村、41分 63分 野村

山梨学院 :

<戦評>

山梨学院大学のセンターパスにより前半戦が開始された。山梨学院は優位に試合を進め、8分、13分とPCを取得するが先制点を挙げることは出来ない。12分、天理大学#9大塚にグリーンカードが出され、1人少ない状況でも積極的に攻めに向かった天理は20分にPCから#13早戸がタッチシュートで先制点を挙げる。対する山梨学院も22分、23分と続けてPCを取得し、チャンスを作るが、得点にはならず山梨学院に焦りが見える。その後、一進一退の攻撃が続くが、天理は#9大塚を中心に山梨学院と点差を広げようとする力が入る。終盤には両チームとも退場者を出すなど激しい攻防の中、次の1点を目指す、そのまま1-0で天理がリードで前半戦を折り返した。

後半戦に入り、直後36分に天理#7打谷からのセンターリングで#3西村がタッチシュートし2点目を挙げ、山梨学院に差をつける。更に41分PCを取得した天理は、#6野村の力強いストレートでゴールを決め、3点目を挙げる。差を広げられた山梨学院は反撃を仕掛け、PCを取得するが、チャンスを活かすことが出来ない。逆に63分、天理がPCを取得。これを#6野村が再びヒットシュートを打ち4点目を挙げ突き放す。点を返したい山梨学院は、66分PCを取得するが天理のDFの壁は厚く、得点を挙げる事が出来ない。更に試合終了間際にもPCを取得するが、天理の好セーブにより得点にはならず、試合は終了した。4-0で天理が勝利し、明日の決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	荻谷 和代	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	長田 和雄		谷川 晶子
サジェスチョン	加藤 直美		
	竹内 高広		

Aコート 第2試合 女子準決勝

$$\text{東海学院大学} \quad 2 \begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 0 - 1 \end{pmatrix} \quad 1 \quad \text{立命館大学}$$

<得点>

東海学院 : 27分 坂井、31分 日隈

立命館 : 55分 中山

<戦評>

立命館大学のセンターパスにより前半戦が開始された。両チームスピードのあるゲームを展開し、一進一退の攻防が行われる。8分、東海学院大学がPCを取得するが、決められない。その後、東海学院のペースで試合は進み、得点チャンスも訪れるが、あと一步のところまで得点には繋がらない。立命館も17分、20分と立て続けにPCを取得するが、得点出来ない。先制したのは東海学院、27分PCを#2坂井がドラッグシュートを決めた。更に31分、東海学院#9石田のスピードのある回り込みからのパスを#8日隈がタッチシュートで決め2点目を挙げる。その後、流れは東海学院のまま進み、2-0で東海学院がリードし、前半戦を折り返した。

後半戦に入り、点を返したい立命館は、東海学院陣内に攻め込むが最終的にゴール前にボールを送ることが出来ない。43分、48分と東海学院の猛攻を防いだ立命館は、55分#11中山の押し込みにより1点を取り返した。更に立命館は58分、PCを取得し、点を取り返そうとするも得点にはならない。その後、東海学院は2人の退場者を出し、一時、9対11の試合が展開される。それでも東海学院は勢いを緩めることなく攻め続ける。試合終了5分前、ようやく11対11となり更に激しい戦いとなる。しかし、立命館は1点を返すことが出来ず、試合はそのまま終了。2-1で東海学院が勝利し、明日の決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	野澤 光代	アンパイア	富山 喜正
ジャッジ	東原 宏明		木下 英貴
サジェスチョン	佐合 重治		
	和田 真二		

Aコート 第3試合 男子準決勝

山梨学院大学 3 $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$ 0 慶應義塾大学

<得点>

山梨学院 : 13分 70分 大家、46分 村田
慶應義塾 :

<戦評>

山梨学院大学のセンターパスにより前半戦が開始された。両チームとも素早く、力強いプレーを見せ、一進一退の攻防が続く。13分、山梨学院#27大家在リバースシュートを決め、先制点を挙げる。山梨学院はテンポの良いパスで、更に相手陣内に攻め入る。しかし、慶應義塾大学のDFの好セーブにより、なかなか得点には結びつかない。慶應義塾もゴール前にボールを集めるが、得点することが出来ない。その後も互いにシュートチャンスが訪れるが得点を挙げることは出来ない。1-0で山梨学院がリードし、前半戦を折り返した。

後半戦に入っても両チーム譲らない攻防が続く、早い展開の試合となった。46分、山梨学院#10草野が絶妙なパスを送り、#3村田が強烈なリバースシュートで2点目を挙げる。対する慶應義塾も得点を返そうと反撃するが、山梨学院のDFを破ることはできない。勝利が決定的となった終了間際の70分、PCから#27大家在リバウンドを落ち着いて決め、3点目を挙げる。同時に試合は終了。3-0で山梨学院が勝利し、明日の決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	出橋 英児	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	草野 妥彦		松島 考治
サジェスチョン	真 喜代司		
	和田 真二		

Aコート 第4試合 男子準決勝

天理大学 2 $\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$ 1 立命館大学

<得点>

天理 : 37分 三谷、70分 下市
立命館 : 61分 堀江

<戦評>

天理大学のセンターパスにより前半戦が開始された。両チームともスピードのあるパスやキレのあるドリブルで相手を崩そうとするも、攻めきることが出来ない。8分、天理はPCを取得し、#3下市が鋭いヒットシュートを放つが、ボールは枠を外れ、得点にはならない。立命館大学も11分、19分にPCを取得。しかし、天理の固いDFに阻まれる。その後、試合の流れを立命館が掴み、積極的に攻め込こんで天理のゴールを脅かす。立命館は立て続けにPCを取得し、強烈なシュートを放つが、天理GK#28井川の好セーブにより得点することは出来ない。両チーム無得点のまま前半戦を折り返した。

後半戦に入り、立命館が流れを掴み、天理陣内に攻め込んだ。しかし、37分、一瞬の隙を付き天理#6三谷が速攻からのチャンスを活かし、リバースシュートで先制点を挙げる。追う立命館はPCを取得するなど、再三反撃を試みるが、得点に繋げることが出来ない。しかし、61分、立命館#14渡部からのセンターリングを#7堀江がタッチシュートで決め、同点に追いつく。更に立命館は追加点を狙い、ゴールに迫るが天理はそれを許さない。立命館の激しい攻撃を守り切った天理は、70分、PCを取得。これを#3下市がドラッグシュートを決め、一歩リードする。そのまま試合は終了し、2-1で天理が勝利し、明日の決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	長田 和雄	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	境山 博之		木下 英貴
サジェスチョン	加藤 直美		
	竹内 高広		

明日の組み合わせ 〈Aコート〉

第1試合 女子3位決定 戦 ----- 9:30	立命館大学	0	$\left(\begin{array}{c} - \\ - \end{array} \right)$	0	山梨学院大学
第2試合 男子3位決定 戦 ----- 11:00	慶應義塾大学	0	$\left(\begin{array}{c} - \\ - \end{array} \right)$	0	立命館大学
第3試合 女子決勝戦 ----- 12:30	東海学院大学	0	$\left(\begin{array}{c} - \\ - \end{array} \right)$	0	天理大学
第4試合 男子決勝戦 ----- 14:00	山梨学院大学	0	$\left(\begin{array}{c} - \\ - \end{array} \right)$	0	天理大学